

# 「経営学特講」試験解答用紙

(担当者名：蓮見 亮)

採点欄

2013年12月1日(日) 15:10~16:10 施行	学部	学科	年	組
・解答用紙全2ページ、問題用紙別 ・試験時間60分、途中退出不可 ・電子機器の使用不可 ・自筆ノート持込可(ただしA4用紙1枚(表裏)のみ)	学生証番号			
	氏名			

満点  
**100**

採点欄

問1. 配点  $2 + 1 + 4 + 1 \times 4 = 11$

(1)	<b>0.5</b>				
(2)	<b>鈍感</b>				
(3)	<b>水道水は必需品で代替物がほぼないのに対し、ビールは他のアルコール飲料で代替できるので、ビールへの需要の価格弾力性のほうが大きい。</b>				
(4)	利潤	<b>25円</b>	限界収入	<b>50円</b>	
	限界費用	<b>55円</b>	限界利潤	<b>-5円</b>	

問1

**11**

問2

**20**

問3

**16**

問2. (1) / 配点  $0.2 \times 40 + (2 + 2 + 4) + 4 = 20$

生産量	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
固定費用	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
可変費用	0	0.3	0.8	1.5	2.4	3.5	4.8	6.3	8	9.9	12
平均固定費用	—	3	1.5	1	0.75	0.6	0.5	0.43	0.38	0.33	0.3
平均可変費用	—	0.3	0.4	0.5	0.6	0.7	0.8	0.9	1.0	1.1	1.2
平均総費用	—	3.3	1.9	1.5	1.35	1.3	1.3	1.33	1.38	1.43	1.5
限界費用	—	0.3	0.5	0.7	0.9	1.1	1.3	1.5	1.7	1.9	2.1

問4

**14**

問5

**25**

(2)	①	<b>4</b>			
	②	<b>1.4ドル</b>			
	③	<b>1ドルという価格は、損失を最小にする生産量において平均可変費用を上回るので短期的には操業すべきだが、固定費用が回収できないので長期的には操業を止めるべきである。</b>			

問6

**14**

(3)	<b>競争市場は、長期的には各企業の利潤がゼロとなる価格で均衡するので、生産物の市場価格は最適生産量においてゼロ利潤となる1.3ドルになる。</b>				
-----	----------------------------------------------------------------------------	--	--	--	--

問3. 配点  $2 + (1 + 3) + (1 + 3) + 2 + (1 + 3) = 16$

(1)	<b>4ドル</b>			
(2)	<b>非効率的</b>	<b>理由：企業が独占利潤を得ることによって死荷重が発生するから。</b>		

(3)	架けるべきではない	理由：利潤を最大化するような価格設定を行っても、固定費用まで考慮すると40万ドルの損失が発生するから。
(4)	0ドル	
(5)	架けるべきである	理由：橋を架けた上で価格を0ドルに設定した場合の消費者余剰320万ドルは、橋の建設費用を上回るから。

問4. 配点  $2 \times 5 + 4 = 14$

(1)	1,000ドル	(2)	7,000ドル
(3)	① 7,000ドル	② 18,000千ドル	③ 20,000千ドル
(4)	一方または双方に利己心が存在する場合には、他者を出し抜くことが合理的なため、カルテルの合意は守られにくい。		

問5. (1) 配点  $(1 + 3) \times 5 + 5 = 25$  ※ (1) はあくまで一例。理由次第によって柔軟に採点する

a)	独占的競争市場 (完全競争でも可)	理由：ビール会社は複数存在し、自らのブランド名を冠した差別化された商品を販売しているから。
b)	完全競争市場	理由：ガソリン会社（卸元、スタンド）は多数存在し、（JIS規格によって）規格化されたガソリンを供給しているから。
c)	独占市場	理由：水道事業には大きな初期投資が必要なため、地域ごと1社の公営企業が水道サービスを提供するのが効率的だから。
d)	独占的競争市場	理由：新聞社は複数存在し、互いに差別化された新聞を発行しているから。
e)	完全競争市場	理由：タクシー会社は多数存在し、各タクシーが提供する輸送サービスは同質であるから。

(2)	どの市場でも買い手の数は多数いるが、独占市場では売り手の数は1社に限られる。完全競争市場と独占的競争市場では、売り手の数は多数であり、長期における利潤がゼロとなる点は共通だが、完全競争市場で取引される財は同質であるのに対し、独占的競争市場で取引される財は製品の差別化がされている。
-----	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

問6. 配点  $2 \times 7 = 14$

(ア)	予算制約	(イ)	財の相対価格	(ウ)	満足度（効用）
(エ)	限界代替率	(オ)	財の相対価格（予算制約線の傾き、でも可）	(カ)	所得効果
(キ)	代替効果				

（解答欄はここまで）